

技術士 1 次試験に合格して



綿貫 乃愛

(わたぬき のあ)

勤務先

HRS 株式会社

環境防災部 道路環境課

〒047-0005 北海道小樽市勝納町 8-39

TEL 0134-22-7710 FAX 0134-22-7696

E-mail n.watanuki@h-r-s.co.jp

■ 専門：水産部門

自己紹介

私は北海道の平取町出身で、四国にある高知大学を卒業後、昨年 4 月に HRS 株式会社に入社しました。

幼少期から自然に囲まれて育ち、生物に興味を持つようになりました。特に、魚類に関心を持ち、高知大学の農林海洋科学部に進学を決めました。大学では、淡水魚類の地理的分化について研究をしていました。生まれ育った北海道とは異なる自然環境で 4 年間学び、貴重な経験を積むことができました。

現在は、HRS 株式会社にて、騒音振動調査などの生活環境調査を担当しています。

受験のきっかけ

私は入社当初、仕事に関する知識がほとんどなく、基礎から勉強し直さなければならないと考えていました。そんな中、技術士という資格を知りました。技術士の一次試験では、科学技術全般にわたる基礎知識や技術士法に関する問題が出題されることから、これからの仕事に役立つだろうと考えました。また、社内でも技術士の資格が重視されていることから、一次試験に挑戦することに決めました。

学習方法

勉強は、直近 5 年間の過去問を中心に、回答と復習を繰り返し行いました。

日本技術士会のホームページから、過去問を入手し、はじめに 1 年前の過去問に取り組んだ際には、正答率が 3 分の 1 程度であったため、焦りを感じたことを覚えています。その後、解答だけではわからない箇所が多かったため、解説を探しました。

複数のサイトで解説が提供されていますが、私がおすすめるのは、過去問ドットコムです。(基礎

科目と適正科目のみです。)このサイトでは、解説だけでなく、解答の根拠となる法律や規則の引用もされています。また、インターネットに接続できる場所であれば、どこでも過去問を解くことができ、正答率や解答時間を自動で計算してくれる機能があります。ランダム出題機能もあり、私はよく利用していました。

専門科目については、ネット上での解説が見つからず、大学時代の教材を引っ張り出して、自己学習に励みました。専攻と異なる部門を受験される方は、解説書を購入する方が効率的に勉強できると思います。

あとは、解説を読んで知らなかったことをまとめたノートを作成しました。受験前日にはこのノートを見返して最終確認を行いました。

受験体験

基礎科目の回答時間がギリギリになってしまい、焦りました。しかし、適正科目と専門科目には余裕があり、ゆっくりと見直すことができました。

技術士一次試験には、知識がなくても時間をかけて考えれば解ける問題がいくつかあります。そのため、早めに回答できるよう、事前に訓練しておくことが大切であると感じました。

おわりに

早ければ、4 年後に二次試験の受験資格を得ることができるので、今年から二次試験を意識して仕事に取り組み、知識を積極的に増やしていきたいと思っています。

最後に、様々なアドバイスやご支援をしてくださっている先輩方に、この場を借りて心より感謝申し上げます。